DEPARTURE

1 学年通信 第 3 号 令和 4 年 6 月 1 4 日

1学期中間考査が終了しました。高校に入学して初めての考査はいかがでしたか。 直前にインターハイ地区大会などがありましたが、十分に準備をして臨むことができたでしょうか。 今回の中間考査の結果は個票でお知らせします。 個票には各教科の点数のほか、クラスや学年の順位が記載されます。日頃の授業態度や、家庭学習の結果が点数に反映されていると思いますので、学習の状況を振り返り、ご家庭でも話し合いの機会を持って頂くようお願いいたします。また、今月28日(火)から1学期の期末考査が始まります。不得意な科目を克服するためには、日頃の地道な努力が大切です。高い目標を設定して努力して下さい。

衣替えに伴い、再確認しましょう

6月1日~9月30日は、夏服を着用することになります。正しい着用の仕方について、ご家庭でもご指導をお願いいたします。また、7月1日(月)からは求人票の受付が始まり、外部の方が来校される機会も増えます。正しい服装、あいさつ、マナーの徹底を心がけてください。郡商生のイメージアップにつながります。さらに、希望の進路を実現するためには、日頃の生活態度や心構えが大切です。本校の規定を改めて確認し、いつでも進路活動ができるような服装・態度を心がけていきましょう。ご不明な点があれば、担任までお問い合せください。

男子: 白色無地(ワイシャツ)の長袖か半袖となります。(開襟シャツも可です。) 中にTシャツを着る場合は、白無地もしくは左胸ワンポイントまでです。 本校指定の体育時の半袖シャツは不可となります。

女子:本校指定の夏服セーラー型とし、七分袖か半袖となります。 中に着用する衣類は、制服から襟ぐりなどが出ないようなものでお願いします。 セーラーの襟には、忘れずに校章をつけて下さい。 ウエストを折り返して着用し、スカート丈を短くしたりしないようご家庭でも お話しください。

※詳細については、「新入生の手引き」(オリエンテーション時に配布)、または生徒手帳をご確認ください。

教育相談週間について

6月2日(木)~6月16日(木)は、本校の第1回教育相談週間であり、昼休みや放課後に生徒と担任の二者面談を行っております。高校に入学して授業や部活動、友人関係などさまざまな悩みもあると思います。担任とどのような話をしたかご家庭でも話題にしてみてください。

本校では、年に2回の教育相談週間が設けられています。第2回の教育相談週間は11月に実施の予定です。

第一学年保護者会(6月23日)について

6月23日に第一学年保護者会を行います。すでに5月7日付の文書でご案内しておりますが、期日が近づいて参りましたので、再度内容についてお知らせいたします。

- 1 日時 令和4年6月23日(木) 18:30~20:00(受付18:00~)
- 2 場所 郡山市勤労青少年ホーム 多目的ホール
- 3 内容 ①校長あいさつ
 - ②学年委員長あいさつ PTAクラス役員紹介
 - ③修学旅行について(旅程・費用など) JTBより
 - ④進路指導に関して 本校進路指導主事、学年主任より
 - ⑤学年より
 - ⑥質疑応答

6-7月の主な行事予定

6/2	木	面接週間(~16)	27		全商簿記検定(申込者のみ)
14	火	学校訪問	28	火	期末考査(~7/1)
15	水	スマホ安全教室	7/1	金	求人受付開始
16	木	健全育成挨拶運動	3		全商ビジネス文書検定(申込者のみ)
19		全商ビジネス計算検定(申込者のみ)	6	水	イノベ講演会
20	月	歯科検診	13	水	薬物乱用防止教室
22	水	内科検診	20	水	第1学期終業式
23	木	1学年保護者会	夏季認	果外	7/21, 22, 25, 26, 29

記録をとること

君たちに毎日行ってほしいことがあります。それは記録を取ることです。書くことで、自分の思いが整理され、より明確になっていきます。書くことは考えることです。その日のうちに、出来事ともに時々に考えたこと、反省すべきことや改善点など、思いつくままに、まずは書くのです。机に座り、 I 日の終わりを記録する行為で締めくくってください。

継続するうちに、まとまった文章を書くことができるようになっていきます。読み返すと、自分の文章の特徴が分かるようになります。同じ言葉を必要以上に繰り返していないか、言い回しが簡潔であるかなどです。その気づきによって、他の言葉や言い回しを工夫し、辞書を引くことにつながっていくかもしれません。そのことは、語彙力を増やすとともに、自分の世界を広げていくことを意味するのです。

一つ提案があります。手帳を購入してください。手帳を駆使して、スケジュール 管理ができるような大人になってほしいです。課題を設定し、期限を決め、逆算し て計画をつくる。

そして、日々実行していくのです。そのときに「何のためにやるのか」を意識することが大切です。この瞬間から、その行為は誰かから命じられたり、皆がやるから自分もやるといった他律的な行動ではなくなります。自分に必要な力をつけるためのものだという思いを持つようになり、自律的なものに変わっていくのです。その積み重ねが大きな自信となり、生きる力となります。

例えば、 I 週間という期間で考えてみます。土曜日か日曜日に時間をつくり、月曜日からの I 週間の予定を立てるのです。その際に、計画を成し遂げるための具体的な方法と手順を工夫することがポイントです。継続性が必要なものについては、習慣化できるようになれば、成果は自ずと上がるものです。やる気というのは、気分であり、日々波があります。それに左右されるのではなく、自分を動かす仕組みが必要です。漠然とした計画ではなく、具体的な仕組みづくりが、力をつける鍵なのです。

最後に、イギリスの哲学者であり、神学者、法学者でもあるフランシス・ベーコンの名言を送ります。

『読むことは人を豊かにし、話すことは人を機敏にし、書くことは人を確かにする。』 Reading maketh a full man, conference a ready man, and writing an exact man.

以下は、参考例です。(スペースの都合上、横にしてご覧ください)

資料1:週間予定表/記録表/ To Do リスト 資料2:週の日記



